



フラッグクルー 認定数 シルバー：30名 / ブロンズ：209名

新生活が始まります！
今年度もよろしくお祈いします♪



お花見～発祥と歴史～

今年も桜の開花ニュースが報じられ、お花見シーズンがやってきました。日本人は桜を愛で続けてきましたが、お花見の歴史をご存知でしょうか？

- ・奈良時代→貴族行事が起源とされ、中国から伝来したばかりの梅が鑑賞され歌として詠まれました。
- ・平安時代→梅が桜へと代わり、812年3月28日には嵯峨天皇が神泉苑で「花見の節」を開催したと『日本後紀』に記されています。記録に残る花見の初出と考えられ、天皇が桜を愛したことから貴族間で桜の花見は急速に広がり、桜自体がなくてはならないものに。花見は831年からは天皇主催の宮中行事となりました。
- ・鎌倉、室町時代→貴族のみでなく武士階級にも広がりました。
- ・安土桃山時代→野外で花見をした様子が絵画で確認できるようになりました。豊臣秀吉は大規模な花見を行ったことでも有名です。
- ・江戸時代→ようやく庶民に広がったと言われます。しかし、有名な桜の名所はお寺などの格式高い場所で、1720年に8代将軍徳川吉宗が現在の墨田川公園や飛鳥山公園に桜を植えさせ庶民の行楽として推奨しました。
- ・明治時代→江戸の庭園や大名屋敷が焼かれ、桜の多くが植えられていた場所でもあったので運命を共にしました。絶滅の危機に瀕しましたが、植木職人の高木孫右衛門が桜を自宅の庭に移植し84もの品種を守りました。荒川堤で1886年に桜並木の造成が行われ、1910年には花見の新名所として定着しました。
- ・現在→私たちが大好きな花見です。桜の下で昼も夜も違った魅力の桜ですがマナーや場所取りなどで問題が起き、事前予約や有料化などの取り組みが行われているところもあるようです。昔はやはり身分の高い人の特権だったようです。桜が絶滅寸前だったとは全く知りませんでした。無事に今に残っていて本当に良かったです。そして美しいものを愛でている私たち自身の心も美しくいられるようにしたいですね。



新メンバー紹介

Cabicに新メンバーが増えましたのでご紹介させていただきます！福岡オフィスに勤務することになっておりますので、皆様どうぞよろしくお願いいたします♪

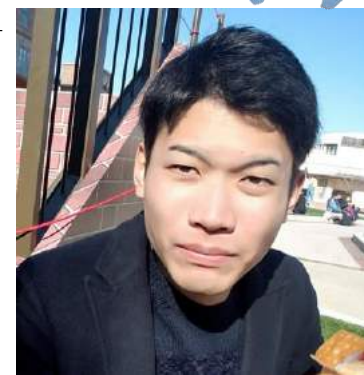
(名前) 重松 瑞来[しげまつ みずき]

(出身地) 福岡

(cabicでの業務) 業務全般

(休日の過ごし方) トレーニング

(好きな言葉) 一期一会



(一言) 4月度から福岡で勤務することになります。クルーの皆さまと力を合わせて九州エリアを盛り上げていきますので、これから宜しくお祈い致します。

お茶紹介

お茶は今から4000年以上も昔、中国で薬として食べられていました。その後、飲み物として楽しまれるようになるお茶が日本に伝わったのは1200年位前のことです。始めはとても貴重でお坊さんや貴族の飲み物でしたが戦国時代から江戸時代になる頃に一般的に飲まれるようになりました。今、私たちが飲んでいるペットボトルやカン入りのお茶のように、お茶はその時代ごとに飲み方を変えながら日本人になくてはならない飲み物であり続けています。



【cabicの本社がある京都は古くからのお茶の中心地】
ここに、日本三大茶の一つ「宇治茶」があります。宇治市は京都の南に位置しており、10円玉のデザインにもなっている平等院鳳凰堂もあります。古くから宇治周辺ではお茶の生産が行われてきました。宇治でお茶が発展した理由には気候が茶栽培に適していたこと、京都で茶文化が盛んだったことや人口の多い消費地だったことが挙げられます。宇治の煎茶の歴史に大きな影響を与えた人物がいました。その人の名は「永谷宗円(ながたにそうえん)」。宇治田原町で製茶業を営んでいた宗円は、長い時間をかけ新しい煎茶の製法を考案しました。すると、煎茶の色や味、香りの質が格段に上がり、宇治茶製法としてその製法は瞬間に全国に広まるのでした。今でも多くの製法がこの宇治茶製法の流れを汲んでいるのだとか。そうして現在、宇治田原町は“日本緑茶発祥の地”とも呼ばれています。程よい渋さと甘さが楽しめる宇治茶。歴史に思いを馳せつつ頂くお茶は、一層格別な味になりそうです。



ポケモン

★ポケモンカードイベント開催★

クルーのみなさん



この度、2週連続土日にて「ポケモンカードイベント」を開催いたしました♪(≧▽≦)

今年中に、数回ポケモンに関するイベントを開催予定しておりますのでポケモンイベントクルーにご興味がある方はぜひ、cabicまでご連絡ください♪

